

2026年4月1日  
セイコーエプソン株式会社

## エプソン、日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）へ加盟

セイコーエプソン株式会社（以下 エプソン）は、持続可能な脱炭素社会の実現を目指す企業グループである「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（以下 JCLP）」に正会員として加盟しましたので、お知らせいたします。



エプソンは「環境ビジョン 2050」の下、脱炭素の実現に向けて、SBTi<sup>\*1</sup>に承認された「2030年にスコープ 1、2、3の排出総量を 2017年比で 55%削減する」という目標を掲げ、バリューチェーン全体を通じた GHG 排出量削減を進めています。

エプソンは、JCLP への加盟を通じて、パリ協定と整合した脱炭素化社会の実現を目指す当社の意思と行動を社会に示すとともに、自社での脱炭素化を実践し、国際社会および地域社会の持続可能な発展に貢献していきます。

\*1 Science Based Targets イニシアチブ（SBTi）。企業や金融機関が気候危機への対応に貢献できるよう支援する、企業向けの気候行動推進組織。

### <参考>

#### ■エプソンの環境活動

<https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>

#### ■日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）について

脱炭素社会の実現には産業界が健全な危機感を持ち、積極的な行動を開始すべきであるという認識の下、2009年に日本独自の企業グループとして設立。幅広い業界から日本を代表する企業を含む 240社が加盟（2026年3月末現在）。加盟企業の売上合計は約 143兆円、総電力消費量は約 77.1TWh（海外を含む参考値・概算値）。

脱炭素社会の実現に向け、横浜市との包括連携協定の締結や、国際非営利組織 The Climate Group のローカルパートナーとして RE100、EV100、EP100 の普及窓口を務めるなど、自治体や海外機関との連携も進める。<https://www.japan-clp.jp>

以上